



波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター
〒213-0033 川崎市高津区下作延 5-11-8
E-mail support0731@luck.ocn.ne.jp
URL <http://www16.ocn.ne.jp/~smi/>

本部会計の経費節減

第2回 理事会開催

平成26年度第2回理事会が10月11日（土）、川崎市教育会館にて鈴木眞一事務局次長の司会で開催された。議事に先立ち、宮田、佐々木両顧問

よりご挨拶をいただいた。

例年第2回理事会は事業報告が主な内容であるが、認定NPO取得の準備のため、経理部より重要な案件が提案された。

大きな切り替えは、受託管理費を各事業の共通経費として組み込み、本部会計の経費節減をめざす方向転換をしたことである。このことにより、認定NPOに関する情報公開、本部会計の有効な活用、当法人の主体的な役割や意義を明確にしておくこととなる。各委託事業会計担当の協力を得て受託管理費の共通経費の割り振りが急務である。



決算方式の説明をする
奥津次長・向井副理事長



上半期事業報告:鈴木事務次長

また、業務報告に合わせ委託事業一覧表を添付し、受託事業名、事業開始年度、委託元、予算額を表示したことにより各事業内容がより明確になった。

第2サポートセンター設置の件については、NPO認定化を最優先することにより一時休止する旨、全会一致で了承された。

初任者研修指導者研修

10月16日（木）教育会館にて午後6時より第2回初任者研修指導者研修会が開催された。

今回より担当者が青木理事から入山理事に引き継がれた。総合教育センター所長、理事長の挨拶の後、宮嶋指導主事



司会進行の入山初任研担当

からの八ヶ岳自然の家で行われた初任者研修会の報告に引き続き、佐藤室長より今年度の初任者の体調不良、学級経営や授業の悩み等勤務状況の具体的説明があった。初任者への指導は学校、教育委員会、研修指導員三者が情報を共有して対処する必要性が欠かせないという指導方針は、これまで初任者研修指導に携わってきた担当者の成果としてとらえたい。

学習支援居場所訪問



コーディネーターを中心に開始前の打合せ



宮前保健所二階会議室

川崎市健康福祉局生活保護・自立支援室が中心となった「子どもの学習支援・居場所づくり事業」も3年めを迎え、サポートセンターの事業としても一層の充実期に入った。今回は宮前区を訪問し

た。渡辺順子コーディネーターを中心に、会議用の机配置からグループ学習形態に模様替えをして、区役所内にある保健所の一室が一変する。出席簿、名札が机の上に並び、学習用パソコンの電源が入る。戸棚が開けられ参考書、辞書の背表紙が顔を出す。まさに学習の居場所づくりである。

全市保護者意見交換会



校長・教員も参加

10月18日（土）、川崎市教育会館において第2回保護者意見交換会が開催された。

本間相談担当の司会進行で、「こどもの不登校」「見守り続ける不安」「進学の方法」「学校からの連絡・支援」等々和やかな中にも実り多い情報交換会であった。

会に先立ち、参加職員がエピソードを含めた自己紹介をおこなった。参加保護者に笑顔が生まれ、緊張がいくらかほぐれたようである。小学校3名、中学校8名の保護者の他、小学校校長及び教員、高校教員の参加があったことは、「福祉と教育の融合」に取り組む研究の成果といえよう。

11月の行事予定

日	曜	主な行事
1	土	
2	日	
3	月	(青)エコチャレンジクラブ⑥
4	火	(青)卓球、
5	水	研究推進委員会 10:00 会計担当者会 宮ノ下 (青)おもしろ理科実験 (旭)読み聞かせ
6	木	(南)情報交換会⑤ (旭)お茶
7	金	(青)よちよちあるきの子集まれ③ (南)子育てサロン (旭)スーパーバイズ⑦
10	月	中原区保護者ミーティング⑤ (青)KYWC
11	火	第2回不登校対策連絡協議会(総合教育センター) ほのぼのスクール15日まで
12	水	(山)街道学習講座②
13	木	経営委員会 13:00 ふるさと館
14	金	役員会 14:00 ふるさと館
15	土	文化講演会 14:00 教育会館
18	火	(青)卓球、お話し会 (旭)読み聞かせ
19	水	学習・相談部会 10:00 宮ノ下 (山)こども探検クラブ
20	水	(青)リトミック (旭)COOKING NPO・退校長会・退教職員の会意見交換会 (教職員会館 15:00)
21	金	認定化推進員会 13:30 宮ノ下 ふれあい宿泊体験④ 22日まで
24	月	(青)子ども運営委員会⑥
25	火	(青)卓球 KYWC
26	水	(山)街道学習講座③ (南)読み聞かせ
27	木	(旭)保護者会④
28	金	事務局長・次長会議 9:00 事務局会 (教育会館 9:30) (青)第3回ほのぼのスクール運営委員会

編集後記

「本日の業務は終了しました。……お手数をおかけして申し訳ありませんが改めてご連絡ください」

事務局で検討中の「留守電文」の一部である。事務室不在中の電話、休日の電話、業務時間外の電話への対応である。業務時間外に意外と多い電話の問

合わせ。かけてきた方に失礼のないようにとの計らいである。受話器で待つ無言の時のわびしさの解消となることを期待する。

